

未黒野

すぐろの

6月号 (通巻778号)



陶の象

小川玉泉

末黒野のひと筋の道日のゆたか
白梅や象の形の榻に坐し
紅梅の枝垂れて触れぬ陶の象
住職に無沙汰を詫びぬ沈丁花

梅林へ思ひそれぞれ人の列
梅が香や紅梅亭の蕎麦啜り
梅林や樹々高からず低からず
梅林の白を眼下にみかん山
襟元の釦外しぬ黄水仙
たつぷりと象の背の春日差し
初蝶と思しき影や鎌休め
向かふ岸歩道のあらず芹茂る

扁平足

松本三千夫

木の芽風水平線に島一つ
啓蟄や扁平足の阿の仁王
近道の春泥ひとつつ跳びそこね
昼暗き鎌倉の川残る鴨
はくれんの駅前広場日のひろば
春風や白寿の詩人柴田トヨ
父祖の地の宮城を春の暴れ地震
ブティックのステンドグラス花ミモザ
日浴し日向水木の黄を競ひ
風棲める竹林春の月にほひ
母の忌のすでに傷める辛夷かな
海鈍色みなとみらいの橋かすみ

甲矢集

配列は音順（当月巻頭作家は
次号は末尾になり以下同じ）

春の地震

小野口正江

啓蟄や合はなくなりし眼鏡の度
原発の未曾有の被害春の地震
灯油車の値上げ告げ行く桜の芽
大津波惨状まざと黄水仙
追ひ打ちのごと被災地の春の雪
子に頼む食糧備蓄蛭汁
映像を見ての黙禱入彼岸
連絡のなき子を待つや春の闇
地震後の雀見ずなり桜の芽
彼岸会や夫の塔婆のお焚上げ

三極の花

清海信子

三寒の四温を経たる金魚かな
初音して予報どほりの日和かな
己が木の影におさまり落椿
反りのよき塔を遠見に梅の昼
春愁や泪かすかに魚拓の目
岩の鵜のみな沖へ向く彼岸西風
三極の花影散らす鞍馬石
雀らをこぼし梢の春めきぬ
菜の花や幾年ねむる水車小屋
行きに見て歸りに触れて花きぶし



乙矢集

配列は音順（当月巻頭作家は
次号は末尾になり以下同じ）
太字は推薦句

荒 東 風

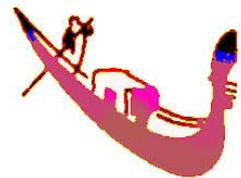
岡 田 史 女

嘯 　　り

小 倉 正 穂

古民家の昼ほのぐらき春炉かな
臥竜梅山より水の走り出づ
猫柳呆けて池の濁りをり
荒東風や東北関東大地震
はらからの安否に暮るる春日かな
入院の児へ付き添ふや春の地震
鳥引くや終日小児病棟に

露の臺出づそれだけで明るき日
落椿浮くつくばひの水蒼し
蒼然とふる里の寺梅白し
育てしは男ばかりや雛折る
灰と活く白れん闇を深めけり
嘯りに杜のふくらむ真昼どき
現し世の濁り知らざり昼の蝶



雉の羽音

乙坂きみ子

切り株の年輪匂ふ春日かな
だしぬけに雉の羽音や古墳道
ものなべて影なき昼やつばくらめ
春昼のひとりに開く昇降機
落ちてなほ樹下彩れる紅椿
花活けて春愁壺に封じけり
灯を低く点す一間や春の風邪

激震

菅野蒔子

余震に堪え臘涙みつめ春夜更く
春の雪降る激震の後の町
給水所に無料とふ札春野菜
通信手段全く途絶え春遠し
震度5の余震幾度春霰
安否情報全身耳に寒き春
地震あとや松の樹越しに春の月

雪解風

菅野日出子

きさらぎ

熊切光子

竹林に触れては消ゆる牡丹雪
本堂へ日矢一条の余寒かな
天水のうすらひ溶けぬ鎖樋
住職の説法長し雪解風
丹沢の斑雪を染むる大落暉
春炬燵言はずもがなのこと悔いて
春宵の銀座なじめぬ店ばかり

立春の昼月をあげ楢林
枝移る鳥の喃語や薄氷
長停車麦踏む人と言交し
寄生木の芽のつややかに西行忌
発つ鳥の鋭き一と声や芦の角
きさらぎの水車に音の生れけり
春光や樟を宿りの鳥の数

万 仞 集

介護士の土筆に停めし車椅子	寒梅てふ酒に賑はひ梅見会	墨えらぶ老舗の奥の雛の灯	三分咲きなれど要の枝垂梅	枝道は畑の匂ひや犬ふぐり	夜もすがらつづく余震や雉子啼く	蚕の家に迫る段畑金盞花	冴返る能楽堂の鏡の間	三方の墨絵襖や雛の燭	合格の赤飯子より梅日和
秋山悌歩	鍋島武彦	田村加代	加藤静江	倉橋千代子	亀卦川菊枝	森清堯	城戸緑	高橋明	波多野孝枝

衣擦れの音の追ひ越し針供養	神谷さうび
買はずともこころ満たされ雛の店	大橋弘子
春日うけ焦げ色きざす雑木山	岩上行雄
囀りに心耳を澄ます雑木山	伊藤由良
梅が香の仄かに揺れて追ひ越さる	福田房子
目鼻付き雅さ増しぬ紙雛	堺昌子
振りむかぬ別れもありぬ橋臙	河合とき
巢立ちゆく孫 <small>うまこ</small> と春の写真館	今泉あさ子
過疎すすむ里の捨畑ふきのたう	中野久雄
故郷や雪形の猿生まれをり	美田茂子

巨林抄

壕跡の 太き 走り 根下 萌ゆる	啓蟄や 鴨場に 残る 覗き 小屋	空也吐く 化仏の さまに フリー ジア	大地震の 停電の 夜を 墓出 づる	戦の世 耐へた る雛飾 りけり	一握の さみど り匂ふ 野芹 かな	女湯の 一人の きまま 春の 海	春立つ や両手 に余る 小買 物	被災地に 命生ま るる 春の 風	紅梅の ほろほ ろ零す 日の 雫	花ミモ ザ袋小 路の雨 匂ふ	境内の 砂利踏 む音の 余寒 かな
川西 栄江	榊山 智恵	中村 弘	沼崎 千枝	百瀬 真山	庵原 敏典	皆川 千佐 恵	土屋 実郎	石井 雲雀	塚越 弥栄 子	斉藤 マキ 子	横路 尚子